

刊夕 日八十月一



定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
 廣告料 五號以上 第一行全五元 第二行四元 第三行三元 第四行二元 第五行一元
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 東京市平野町三丁目
 電話 二四四番
 印刷所 東京市平野町三丁目
 電話 二四四番

流行と教育

國田 芳夫

(1)

女の髪には随分流行り廃りがある、前へ突き出し、上へ高くし、後へ下げ或は耳を隠す。又衣類の縞柄羽織の色合等も年と共に消長する。男の方もカイゼル髭、チヨビ髭、ラツバズボンなどや女に負けては居ない。全盛を極めた麻雀は衰へてゴルフにダンスが擡頭して来た。角力は野球にフアンを奪はれ、更に近來は蹴球や拳闘がフアンを呼ぶ力は悔り難い。「うちの米の飯より隣の麥飯」といふ諺があるが確かに新來の物に珍らしく、覗いて見度くなり流行を知らねば全く話せない、肩身が狭い感じがするのは一般の人情であらう。

二十年程前、岡田式靜座法といふものが盛んに流行り萬病が治るとかで、深呼吸をやつてとんだり跳ねたりバタ／＼やつて居たが數年前からは西式健康法といふのが、やはり病氣を治すとかで、暇さいあれば首や腰を揺ぶることが流行した。運動や深呼吸は保健上結構だらうが、岡田といふ仁が急死してから頓に流行らなくなり、西といふ人が

其筋から調べられた後は大いに寂れて来た。此等も流行の廢りか。

大分以前に沃度療法といふて、沃度が流行をした。之に代つて現はれたのはカルシウムで、一時盛んに醫藥に供されたが今ではカルケットとカルビス位に名残を止め、其の位置を取つて代つたのはビタミンであらう。大衆は之を渴望

ノート

窓の擦硝子に鉛筆で落書きしたのは雑巾で拭いた位では落ちないが、臺所で使ふ磨粉を付けて拭けば除ける

し、醫者も流行物を時代に應じて用ゐて来た。金の値が上つたので、對馬沖の海底から何艦とかを

席題『みかん』高月句會

(二)

から箱を亂雑に積むみかん店
 飛びはねる子の赤足袋にみかん哉
 到來の密柑に子らの陽氣哉
 ほろ酔の父が投げ出す密柑哉
 輝の指もつめたくみかんむく
 さむ／＼とみかんの光る爐はたかな
 年の瀬や都河岸なるみかん船
 双六の上り寝美や犬みかん
 子等呼んで皆にみかんを取らせけり
 炬燵してみかんの皮の堆く

紅果 紅果
 みわ女 美
 曉 晴
 湖 月
 閑 月

耳鼻咽喉科専門
 氣管食道科
 平南町 (電話一七〇番)
大和田醫院

喜多流謠曲と仕舞の
 お稽古をお勧め致します

平田町六九

喜多流 謠曲 仕舞
白土會
 電話一二七番

◇詳細は本會へ御問合せ下さい。

専門
 産婦人科
 花柳病科
 ◎入院隨意

井坂醫院
 平町田町 電話五五九番

此の度……

木炭部

設置致しました

お客様本位に勉強いたしますから何卒御用命は

電話二四四番へ

市原商店

今流行の唄

福島音頭
 東京音頭
 昭和音頭

其他流行歌各種取揃へてあります

平町五丁目

金光堂時計店
 電一九五

中村齒科醫院

平町 鍛冶町七

貸切の御用命の際は是非電話六四〇番尼子タクシーへ御願します。

◇新車も購入致しました。

平二丁目

尼子タクシー部
 電六四〇

内科一般

醫學博士 **難波睦**

平町大町新川端
 電五〇二

醫

院

難

波

米建値安く

續々買上げ申請

石城販賣利用組合では去る十五日大浦農業倉庫に於いて五等米千二百十俵を入札に付した建値一俵八圓十錢と云ふ安値なので直に入札を中止し全俵を政府買上米として申請せる結果全部買上の指令に接したが都下の米價安を見越した各村でも續々買上米申請する者多

井上氏の同志議員対策

同志議員対策

色川製材工場敷地買収に關し刑事事件を惹起し縣會議員町會議長井上茂作氏は色川勝三郎、佐藤三平兩氏と共に三堀檢事の取調べを受け昨日強請收容された爲め研究會所屬の町會議員十三名は昨日午後六時町會終了後政友俱樂部に參集今後の対策を協

庶民金庫總會 平庶

民金庫では来る二十三日午後一時より樓上に於て總會



巷の話題

「やア面白そわ、アリヤ、リヤ」チユツと言ふたやないか「シツシツほんち黙つてんか……まだ序幕やわ——」

然り斯んな場合は黙つて見てるに限らうもの……大阪市天王寺區勝山通り一ノ三〇色見太郎(一)(假名)は天王寺公園ホテル向側のホブラに登り熱心にホテル内のエロ見物をしてゐたが餘り力が入りすぎた爲め両手でつかまつてゐたポブ

果樹手入

好問で講習

好問果樹組合では来る十九日午前十時より同村小學校に於て寒期に於ける果樹類の手入法に就き講習會を開くと

平町壯丁

續々出發

平櫻町横田備中君は本日岐阜飛行第一聯隊に入營の爲め平發午前九時一分で田町友部芳保君は濱松飛行第七聯隊に入營の爲め同日四時十分で各出發したが櫻町久田淺正君は明日仙臺野砲兵第一聯隊へ向け平發午前八時十分若松歩兵第九聯隊への南町本間七五三吉紺屋町松田一、材木町栗城富士夫の三君は同日九時千葉鐵道隊への大工町丹野勝榮新川町岡井正一の一兩君は同

の枝がアツと言ふ間に折れコンクリート道路に眞逆様に墜落氣絶してしまつた

宇和島市潮音寺頂の尼僧庵からは朝のお勤めには無論の事晝夜間斷なくドンドコ〜と太鼓の音が響き渡つて絶え間がない

この三月學校を巣立ち教壇に立つことになつておた岩手女師校生佐貫はな

歸平した鈴木代議士を迎へて議を練り事件の推移を見て東京の鳩山秀夫、磯部尚兩辯護士等にも依頼する事になつた

青訓査閲

藤井中佐來郡 郡内日割決定

石城郡下に於ける各青年訓練所の査閲は来る二十日より十五日間に亘り執行されるが査閲官は福島縣隊區司令部付藤井勇中佐で各町村の日割は左の如くである因に同中佐は平町大町藤井一氏の令兄である(○印は夜間査閲) △二十日小川、赤井第一、同第二(小川) △二十一日大野第一、同第二、平窪(大野第二) △二十三日大浦、四倉、草野(草野校) △二十四日、夏井、神谷(夏井校) △二十五日平、飯

校外取締

十六日頃協議

平町各中等學校生徒校外取締協議會は来る二十六、七日頃平商講堂に於て開くと

四倉道路

功勞者表彰

四倉町では昨年中より工費五百餘圓を以つて同町中町地内道路工事中であつたが此程竣功したので来る廿一日落成式を行ふ工事功勞者の表彰を行ふと

平町人事

回出生

△番匠町四〇 高橋憲氏長女昭子
△古銀治一〇 當時内郷村字上宿二柏原長氏長女光子

回結婚

△小名濱町字定西七五 長瀬啓一氏(二九)紺屋町四一 緒形美枝子(二三)

九時一分で各平驛を出發すると

青訓査閲

石城郡下に於ける各青年訓練所の査閲は来る二十日

校外取締

平町各中等學校生徒校外取締協議會は来る二十六、七日頃平商講堂に於て開くと

四倉道路

四倉町では昨年中より工費五百餘圓を以つて同町中町地内道路工事中であつたが此程竣功したので来る廿一日落成式を行ふ工事功勞者の表彰を行ふと

平町人事

△番匠町四〇 高橋憲氏長女昭子
△古銀治一〇 當時内郷村字上宿二柏原長氏長女光子

回結婚

△小名濱町字定西七五 長瀬啓一氏(二九)紺屋町四一 緒形美枝子(二三)

美味！ 芳醇！

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

門專科柳花

院醫科外村木

際橋目丁五町平 〇九三話電

冷さに泣く子等に 温い同情の恵み

感冒流行の折柄として 無名の奇篤者が寄附

去る十三日平第二小學校に匿名を以つて嚴寒の折柄貴校児童に感冒蔓延の噂を聞ききました

此金で貧困児童の寒さを防いで下さいとの手紙と共に金廿圓の小爲替を送附して来た奇篤者がある同校では深く感激し早速貧困児童の調査を行ひ一年三名

二年八名、三年二名、四年二名、五年三名、六年三名計二十一名に左の金で昨日メリヤスシャツ、モ、引を夫々與へたが児童達の家庭は

父親の無いものが八名失業が五名其他は賃仕事及び行商等で細い煙りを立てゝゐると

籠の鳥の身 行末を案じ

父の後を追つて カルモチン自殺

内郷村字中町田二五居住久光妹廣瀨ミツイ(三)は十六日午後四時頃自宅でカルモチンを多量に嚥下し苦悶中を家人が発見應急の手當を加へた結果生命は取止める模様であるが同人は昨年中東京吉原に娼妓に賣られ本月六日父親に死なれて死去したが前借五百圓ある身の行末を苦しめた結果である

貯水池修繕

飯野消防作業
飯野消防組第五部では去る十五日全組員出動貯水池の修繕及び河川の貯水等の奉仕作業を行つた

平商々工研究 平商業學校商工研究會例會は既

悪事の清算途上

空腹に耐えず逆戻り
山田村生れ目下住居不定無職前科七犯大樂勉(五)は昨年二月七日目の刑を終へて出所後悪事を清算すべく各所に職を求めて歩いたが空腹に耐へかね奮闘十四日茨

坑道奥深く 生うめさる

落盤に襲はれ
好間村字小館二一ノの三居住坑夫金成勇(八)は昨十七日午前十時頃古河第二斜坑内で作業中突如落盤に襲は

煙草を貰えぬ恨み 酌婦を突倒して散々殴る

内郷村大字宮居住鈴木喜七(三)は去月中同村字瀧料理屋相馬屋方前で酌婦影山アキ(三)に煙草をねだつて断

明日のラジオ

十九日

今晚の部

- 後六、〇〇(子供の時間)
- 「ある日の夢」長崎お伽俱樂部
- 後六、二五 英語講座(二)
- 若杉三郎
- 後七、三〇 講 演
- 後八、〇〇 ギャイオリン

今晚も明日も北西の風晴曇半す

明日の部

- 前七、〇〇 基礎英語講座
- 前九、一〇 料理献立「コロケ、ドゾオライ」朝倉長吉
- 前一〇、三五 家庭講座
- 後〇、〇五 掛合嘶「犬の顔」豊年齋海坊主其他
- 後二、〇〇 婦人講座「世に立たんとする婦人の身体検査について」醫學博士竹内茂作
- 後三、三〇 大角力春場所 實況(國技館より中継)
- 後五、三五 受験講座(和

文英譯「岡田實磨」

- 後六、〇〇(子供の時間) 名作物語 解説「竹取物語とは」 櫻葉 勇
- 「竹取物語」細川 武子
- 後六、二五 ことばの講座 (第二講)母音の話 神保 格
- 後七、三〇 講演
- 後八、〇〇 ラジオソング「ラッキージェル」門田 芦子 外大勢
- 後八、五五 連続浪花節
- 「寛政力士傳(第三席)越の海勇藏」 木村重友

両手を轢断して 綴驛信號手遂に絶命

内郷村綴驛信號係高木利徳(三八)は昨日午後三時頃構内に於てポイントの掃除中入替作業を行つてゐた貨物列車に轢倒され両手轢断頭部其他に瀕死の重傷を負つたので直ちに平南町酒井醫院に擔ぎ込み應急手當を行つたが同六時頃遂に死亡した

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める

川崎 文庫
電話 六三〇番
(申込次第規則書進呈)

- ### 平職業紹介所報告
- 回人を求める方
 - △女中 尋卒 月五圓位
 - △出前持 二十四才 尋卒 月十圓位
 - △洋服徒弟 十六迄 尋卒 給料面談
 - △外交員 三十五才 尋卒 金額の三割給す
 - 回職を求める方
 - △小使 五十一才 尋卒 無學給料面談
 - △外交員 二十五才 商卒 給料面談

吉田眼科病院

平南町新川町十九
電話 一六四番

木村病院
電話 一六四番

眼科専門 院長 吉田 安雄
醫學士 吉田 久雄

産科 院長 木村寅次郎
婦人科 醫學博士 内木宗八
外科 藥劑師 立 番 彌 一
藥局

銘劍秘笈

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第三百十五回 徳川家に崇る村正

腹痛の流行る日

左「夫で何か怪儀はしなかつたか」

定「ヘエ、モウ私は夢中で風呂敷を叩きつけて逃げ出したんでございますが後で気が付くと其の風呂敷の中にお得意様で頂いて来た百兩のお金が入つてをりましたんで」

左「ウム、で如何いたしました」
定「夫からマア飛だ事をして終つた何とかしてお返ししたいものだと思ひまして堤下を這ふやうにして恐々其場合へ戻つて様子を窺ひますと其の二人が何か頻りに言ひ合つてをりましたが其の内に天下の旗本といふ事が耳に入りました、お旗本さんの中にも追剽を働くやうな悪い人があるんでございませうかな」

左「黙れ、とんだ事を申すな拙者も之に在る溝口氏も旗本だ、徳川の旗本に追剽を働くやうな怪しからん者が在る氣支ひはない、左様な不屈きな事を世間へ參つて吹聴をしてはならんぞ」

定「ヘイ恐れ入りました」
左「喃溝口、如何に此の頃徳川の旗本が悪くなつたと云へます追剽を働くやうな

所持して居ります」
左「夫は用心のよい事だ尤も印籠の内には薬を用意してをくのが武士として當然の事だが、此の頃若い者には甚だ怪しからん奴がある名前には申さんがある男の印籠を開いたら中から糞粒が二つ出た武士としてあるまじき事ではないか」

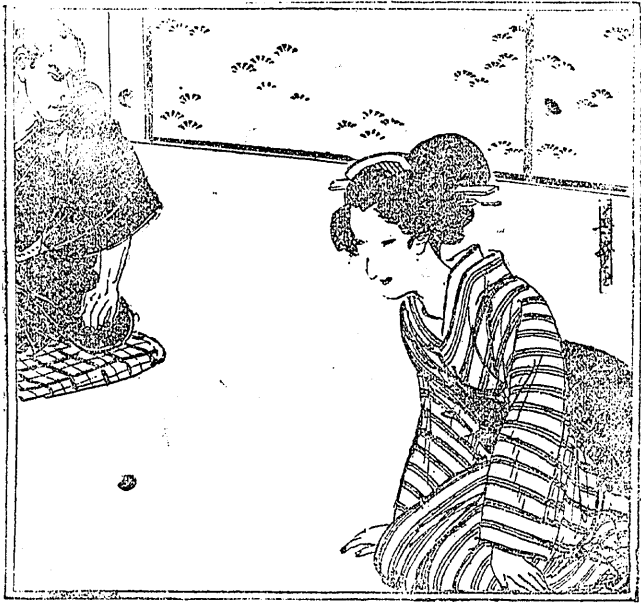
五「夫はどうも怪しからん事で、エ、お頭夫では甚だ申譯がございませぬが今日は之でお暇を致します」
左「ナニ歸るかまだ勝負が附かんではないか」
五「今日は手前の負と致し

五「成程其方も大分顔色が悪いな、矢張腹痛か之は變たな今日は腹痛が流行ると見える」
定「では手前も之でお暇を致します」
左「待て、少し其方に聞きたい事がある、腹が痛ければ薬をやるがそれより貴様の病氣には酒が一番合藥だらう」

定「イエそれが何で先日的一件から主人に大變叱られましたそれが爲に禁酒を致しましたやうな譯で」
左「それは可哀想に併し少し位は宜からう、酔を醒まして口でも溜いで歸れば分りはせん、實は溝口と一緒に飲まうと思つて酒肴の用意もして置き一人で、飲むのは旨くはない對手をしないさう」

定「ヘエ」
左「それから先刻の追剽の件だあの話をモウ少し委しく話して呉れ」
定「ヘエ而し何で……」
左「何をキョロ／＼してゐるのだ誰も外に聞く者はない始めから話さない」
定「畏まりました」
それより大久保左内が定吉から追剽の様子を細かに聞き取つて何か一人で頷いてゐた、此方は溝口五左衛門腕を組んで何か考へながら屋敷へ歸つて来た、おさだが心配さうに

さ「貴方どうなさいました大分お顔色がお悪いやうでございませうが」
五「ウム少し金子の入用が出来たと申すのも、お頭仰しやるに何日まで小普請であるのは詰らん相當な役の附くやうに計つてやるが夫には種々金が必要三百兩ばかりなければいかんといふのだがどうだらうさだお前實家へ行つて其の金を用立て、貰つて来ては呉れませんか」
と云はれておさだがハツと胸をいためた



大分顔色が悪いが
五「ハイ少しく腹痛で」
左「夫はいかん、何か薬があるだらう腹痛には熊の膽かお百草か陀羅助がよい」
そんな物を吞ませられては堪らないと思つて
五「イヤ此の節折々腹痛がございませうので合藥を常に

てをきます」
左「マア宜い病氣とあれば據ろない然し又近日迎ひを出すから来て呉れろ」
五「是非伺ひます、定吉といふかテト身共の屋敷へも參れ」
定「有難う存じます」
禮を言ひながらヒョイト

五「成程其方も大分顔色が悪いな、矢張腹痛か之は變たな今日は腹痛が流行ると見える」
定「では手前も之でお暇を致します」
左「待て、少し其方に聞きたい事がある、腹が痛ければ薬をやるがそれより貴様の病氣には酒が一番合藥だらう」

美味で！
評判の……
イワキ
サロン
電 352

看護婦急派
の求めに應
じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

体温計の検査日です
10日
機査検
機設新
お宅の体温計は？
◎正確な体温計を御使用下さい
◎毎月十日の検査日御利用下さい
度量衡 指定販賣人
計量器
西村屋藥局
電 三番

理想の治淋薬出現す
一般賣藥、熱療器類に不満を感じた患後の良藥として本藥を紹介いたします。
◎本藥は有り觸れた白檀油系統の平凡藥でなく、独自の注射原藥を主劑とし外に洋藥及漢藥數種の特効成分と利尿藥が配合され特に胃腸腎臟障害等の副作用を絶無ならしめた安全藥で又錠劑で有ります。
配合原藥注射内服殺菌強力
ザロス
消渴 淋病
分用 ¥2.00
用症 ¥3.00
輕重 ¥5.00
發賣元不二藥品商會
平町出町(松月堂向イ)
特約店 阿部藥舖

御融通には！
是非御利用を……
萬事便利な御相談に應じます。
三井質店
平四・電六〇六番